

始良校区 コミュニティ協議会だより

発行 平成28年7月1日
号数 第4号
事務所 始良市西餅田 3311-1
(始良市働く女性の家内)
電話 73-8389 (火、木、金)

始良校区コミュニティ協議会の2年目にあたり

始良校区コミュニティ協議会長 大浦地政廣

始良校区コミュニティ協議会が発足して1年を過ぎました。

改善しなければならない点も見えてきましたし、前年度の反省を活かして、一步でも前進できればと考えております。

今年は、昨年と同様の事業を実行しながら、働く女性の家のホールをお借りして、地域の皆様の作品(書道・写真・俳句・短歌)展を予定しております。

一方、始良市からは、校区内の「まちづくりプラン」の作成を求められております。

校区内の皆様と話し合いやご意見をお聞きしながら、校区で「こんなことができないか。」「こうしたものが欲しい。」とか、伝統文化の発掘・存続させるなどのご意見をお聞きして、実行に当たっては、「短期・中期・長期の計画」を作成し、この計画を「自力でやるか・協働でやるか・行政にお願いするか」等の仕分けを行って、今後の始良校区の「まちづくりプラン」に活かしていきたいと考えております。

このまちづくりプランは、今後の始良校区内のあり方や、地域の振興に寄与でき、地域の皆様の期待に沿えるようなものでなければならないと考えております。

早速、皆様にアンケートをお願いして、ご意見等をお伺いしますので、皆様のご協力をお願いします。



元気なあいらっ子登校中



平成28年度総会の概要及び活動計画

当協議会の平成28年度総会は、平成28年4月17日(日)午前10時から始良市高齢者福祉センターで開催しました。

総会は、大浦地会長のあいさつ並びに来賓(始良市福留企画部長)あいさつの後、議長に並木東自治会長松田幸一氏を選任し、議長が議事録署名人に依原自治会民生委員の堂菌敬子氏を指名し、第1号議案平成27年度事業報告及び収支決算報告・監査報告の承認について、及び第2号議案平成28年度事業計画(案)及び収支決算(案)の承認についての審議を行い、2議案とも原案のとおり承認されました。

第3号議案 その他については

- 1 新しい行事を作ったらどうか。思川の河川を利用して手作り筏、ボート等安全を図りながら子供たちと一緒に自然とのふれあい体験はどうでしょう。
- 2 子供たちがどれだけ参加できるのか?かなりの準備・時間等がかかるから始めは小さな事から徐々に大きくしていけたらと思う。
- 3 海洋少年団を作ってやる方法もあるが、主催等はかなり難しい。
- 4 子供達を遊ばせ体験させる行事は非常に大事なことでと考えている。しかし、学校との厳密な打ち合わせが必要であり、学校ではスポーツ少年団の行事が2年先まで予定されており、計画してすぐやろうということは難しい状況である。
- 5 子どもには川で遊ぶな、用水路に近づくなという指導をしており、子供達の安全が最優先であるので綿密な計画のもと安全を確保できる行事にしていきたい。
などの意見交換がなされました。

平成28年度の予算

収入の部			支出の部		
区分	予算額(円)	内訳等	区分	予算額(円)	内訳等
繰越金	714,355	前年度から繰越	事務費	504,000	事務用品他
市補助金	1,393,000	始良市交付金	総務部	653,000	啓発看板他
他団体補助金	50,000	社協福祉協議会	青少年育成部	170,000	菓子作り他
負担金	210,000	各自治会から	福祉文化部	438,500	校区敬老会他
雑収入	30,000	寄付金など	健康安全部	169,000	グラウンド・ゴルフ他
			予備費	462,855	
計	2,397,355		計	2,397,355	

平成28年度の主な活動計画

総務部	青少年育成部	福祉文化部	健康安全部
広報紙の発行 啓発看板の設置 各種団体との調整 自治会事業との調整	重富海岸干潟体験勉強会 お菓子作り 星座教室 ふれあい教室(小3) 郷土に学び育む青少年運動 あいさつ運動 子ども見守り スクールゾーン対策	福祉研修視察 校区敬老会 いきいきサロン支援 芸術作品コンクール 鬼火焚き支援 募金活動	ドッジボール大会 9人制ソフトバレー大会 健康支援グラウンド・ゴルフ大会 3世代グラウンド・ゴルフ大会 始良市校区対抗スポーツ大会 (9人制ソフトバレーボール・ ペタンク) 防犯パト・青パト 他

(文責：事務局長 岩元孝見)

始良小校区の紹介2

〈自然環境〉

1、重富海岸

- ① 重富海岸は霧島錦江湾国立公園の一部で始良カルデラが一望できます。
- ② 重富海水浴白砂600mに及ぶ山野海岸の沿線に約340m程の松林があり、噴煙たなびく桜島を正面に望み、展望雄大な海水浴場です。
- ③ 重富海岸の干潟は川が海に流れ込む河口にあり、思川の淡水と錦江湾の海水とが出会うところで広大な干潟ができており、ここでは準絶滅危惧種の「ハクセンシオマネキ」が生息しています。
(東京湾や瀬戸内海等多くの干潟では絶滅しています)
- ④ 海水浴場の一角に「重富干潟小さな博物館 なぎさミュージアム」があり、錦江湾の実態、生息する生物の生態調査・保護観察・広報等をしており観覧は無料となっております。



ハクセンシオマネキ

⑤ 2級河川「思川」

- ・ 校区の西側を錦江湾に向かって思川が流れており湾に近い為、潮の干満により淡水魚・海水魚が入り混じり豊富な魚がおります。野鳥の飛来も多く心が癒されます。
 - ・ 近隣自治会で思川水系美化・浄化対策委員会を立ち上げ、月1回第3土曜日を美化の日とし河川・河岸の清掃草払い、紫陽花の植栽等を実施しております。
 - ・ 例年5月～6月にかけて鯉のぼりを100匹泳がせるイベントの実施
 - ・ 思川に架かる橋と兩岸を利用してジョギング・ウォーキングコースを場・世代間交流を含めたふれあいの場として利用されています。
- ⑥ 錦江湾の野鳥には、いつも住んでいる「留鳥」、子育てをするために夏に渡ってくる「夏鳥」、暖かい錦江湾で冬を過ごし豊富な餌をたべ、羽を休める「冬鳥」、夏と冬に北半球と南半球を往来する途中で立ち寄る「旅鳥」など季節ごとの鳥たちに出会えます。
 - ・ 思川河口付近で3月～5月にかけて世界で約三千羽しかいないと云われる「絶滅危惧種」の「クロツラヘラサギ」がみられます。



- ・ 錦江湾の空のハンタータカ科の「ミサゴ」が生息しており水面の魚を捕獲し食べる様子や巣立ったヒナに狩を教える様子も見ることができます。

このように錦江湾・思川・建昌城跡という自然が織り成す優しい環境の中で、住に街始良校区の人々は一体化しているのです。



(文責：松田 幸一)



田の神様・移転終わる

楠元の田の神さーは、始良市内では一番古いもの（1712年建立）だといわれ、高速道路の桜島サービスエリアの西側の山裾にありました。地元の人々もその多くは存在を知らない状態でした。今年度、高速道路のスマートインターの設置工事が始まり、自治会への移転に伴う説明があり、地権者の福崎フミ子さんとその対策を相談していました。

5月末までに移転をと申しわたされていましたので、墓石業者やお祓いをしていただく高穂宮への依頼を進めていただきました。

4月27日（水）午前10時から地鎮祭（新たに設置される土地の祓いや清めるためのお祭り）を高穂宮の吉留様の手で執り行い、引き続き・昇天祭（田の神さーを移転するにあたり、その作業のため、人手や機械により騒がしかったり汚されたりしないため、作業が終わるまでの間、天に上っていただくお祭り）を執り行っていただきました。

5月3日（火）午前10時入魂際（天に昇っていた田の神さーを呼び戻して、ここが、新しく鎮座される場所ですよとお知らせする意味を持つお祭り）を雨の降りしきる中、祝詞奏上や玉串奉てんと滞りなく終わりました。

田の神さーは、田んぼの守り神ですから、田植え時期のように雨に見舞われるのがよく似合うとも言われているそうです。三つのお祭りを終え、新たに鎮座されています。

ここも福崎さんの土地です。今後とも管理をしていただけるようです。

場所は、高速のガードをくぐって山手へ向かいますと山の麓付近にあります。

一度足を運んでみてください。

(文責：総務部 小倉 章)



始良校区コミュニティ協議会役員会報告

◎5月20日 13:30～

①代表者会議（5月11日）出席報告

- ・まちづくりプランの作成について
- ・始良市健康づくりコーディネータ制度について
- ・ひとり親等児童の「居場所」づくり事業企画書について

②消防署の落成式（5月17日）出席について

③健康安全部の経過報告について

◎5月24日「始良市健康づくりコーディネータ制度について」健康増進課説明

◎6月2日13:30～

- ①校区の始良市「健康づくりコーディネータ（4名）の推薦」方法について
- ②校区まちづくりプランの取組について

こいのぼり展示セレモニー「始良っ子・明るく元気に・大空へ」

5月5日(木)「子どもの日」、思川河畔で恒例のこいのぼり展示セレモニー「始良っ子・明るく元気に・大空へ」(主催思川水系美化・浄化対策委員会)を開催しました。今年は毎年池島公園で開催されている「思川チャリティフリーマーケット」も共催され、8,000人を超える来場者でにぎわいました。

セレモニーでは、市のイメージキャラクター「くすみん」も加わり、ポニー(馬)の踊りや五つ太鼓の演奏(響太鼓・薬師太鼓)、ギターやハーモニカの演奏(松原上同好会)、カヌー体験(県カヌー協会)なども行われ大好評でした。

フリーマーケットも市内外から様々な屋台や衣類・雑貨・おもちゃ・鉢物・野菜等、約80店舗の出店がありました。

当日は子供たちの健やかな成長と「子どもの日」のお祝いを兼ね、菓子パンや風船のプレゼント、大鍋(500食炊き)による「豚汁のふるまい等もあり喜ばれました。

市民の皆さまから提供され、孟宗竹に掲げられた100匹の鯉のぼりや東日本大震災の後作られた「がんばろう日本」、熊本地震で新たに作られた「がんばろう熊本・大分」の吹き流しが勇壮に泳ぎ、セレモニーを盛り上げてくれました。

また熊本地震の義援金箱も設置し、集まった約4万円の義援金は早速社会福祉協議会を通じ寄附しました。今後もこのようなイベントや思川の美化活動を通じて、地域の活性化や連携が図って行けたらと願っています。

(文責 : 和田 里志)



第1回芸術作品コンクールのお知らせ

次の内容で実施します。

1 種 目

- ① 書道の部(用紙の企画は自由)
- ② 写真の部(規格は2Lサイズ以上)
- ③ 俳句、短歌の部(短冊箋のサイズ6cm×36.3cm)

※ 応募作品は未発表のものに限る。

2 応募期間

10月11日(火)~10月28日(金)のうち火、木、金

- 3 入賞作品は、働く女性の家(ロビー)に11月中旬ごろ掲示し、入賞者には記念品を贈呈します。

※ 詳しくは、後日回覧等でお知らせします。



秋来ぬと
目にはさやかに
見えねども
風の音にぞ
おどろかれぬる